みんなで読書の森をつくりましょう

ことばとこころを育てる読書活動

子どもは、読書活動を通して多くの「ことば」を獲得し、聞く力や想像する力を伸ばすことができます。これらの力は読解力のもとになり、子どもの学びを支えます。

「ことば」は「こころ」の糧となります。心を込めて読んでもらった「ことば」から愛情が伝わり「こころ」の支えとなります。「ことば」を通して、知り、感じ、考え、伝え、行動することで、豊かな人間関係や生き方を創造し、「生きる力」を育みます。

茅野市の実践する「ことばとこころを育てる読書活動」は、豊かな感性に根ざした子どもの育成を願うものであり、「たくましく やさしい 夢のある子ども」を育む活動です。

地域で、家庭で、大人も子どももみんな一緒に読書に親しむために・・・

家庭では

家庭は子どもの生活基盤となる場であり、 家庭での読書体験は、本好きな子どもを育て、 温かな家庭や望ましい人間関係をつくる源泉 となります。おなかの中にいるときからの語 りかけや生まれてからの読み聞かせを通し て、肉声で「ことば」を伝え、「ことば」のや り取りをしながら、本に親しむ環境づくりを しましょう。



地域・行政では

図書館など様々な施設で、ボランティアと連携して、おはなし会や読み聞かせ講座を開催したり、ブックプレゼントや本の紹介をしたりす

るなど、読書活動を通して、家庭での 読書を応援します。

【担当】茅野市教育委員会

生涯学習課 こども読書活動応援センター

〒391-8501 茅野市塚原二丁目6番1号(市役所4階)

TEL:0266-72-2101(内線 635)

STATE OF STREET

「第4次茅野市こども読書活動推進計画」の詳細、行政や各施設・団体の具体的な取組については、 茅野市のホームページをご覧ください。https://www.city.chino.lg.jp

第4次 茅野市こども読書活動推進計画

こども読書の森づくりプラン

茅野市をさまざまな人が集う森と考えたとき、一本一本の木が育つように、 一人ひとりの市民が健やかに成長し、この森がこころ豊かな森となり、やさし さと活力あるまちとなることを願います。

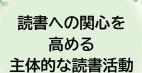
こころの豊かさはことばの豊かさです。読書活動を通じて「ことば」が豊かになることで、豊かな感性と想像力が育まれていくことでしょう。大人も子どもも、一人ひとりが読書に親しむことにより、「読書の森」が豊かに大きく育っことを願い、様々な場所や機会をとらえ、読書活動を推進します。

計画の基本方針

~ こんなことを大切に取り組みます ~

家庭読書を大切に ことばと出会い 生涯にわたって 読書を楽しむ 習慣づくり 読書の楽しさを 味わい 考える力・想像力 読解力・表現力を養う 読書活動の推進

デジタル社会や 子どもの学びに 対応できる 読書環境の充実





子どもの 読書活動の意義や 大切さについての 情報提供



茅野市・茅野市教育委員会

※幼保小連携教育、小中一貫教育では、年長~小2、小5~中1を一つのまとまりと考えていますが、読書教育においては、学校での実際の読書活動に基づき、このように年齢を分けました。

胎児期(生まれる前)

一緒に心地よく

ファーストブック 30 冊の中から

出生届提出時に1冊

乳児期(0歳~2歳) やりとりと温もりの中で

幼児期(2歳~6歳) 耳からの読書を楽しんで

子どもの発達段階の特徴と 大切にしたいこと

> おなかの赤ちゃん おはなし会

おなかの赤ちゃんは、お母さんの おなかにいるときから音が聞こえて います。優しく語りかけたり、心地よ い音楽を聞いたりして、穏やかに過 ごすようにします。

周りの大人とのやりとりの中で、ことばを覚 えていきます。肌のぬくもりを感じながら、語 りかけやうたを聞いたり、読み聞かせによる絵 本との出会いを楽しんだりして、家族との絆を 大切にします。

朝の絵本の時間 読み聞かせ 月間絵本の紹介

大人との温かいかかわりの中で、ことばや情 緒、社会性などが発達します。耳からの読書を 十分に楽しみながら、ことばの力や想像力・感 性を伸ばします。友だちとの遊びの中で、さま ざまな体験を通じて、絵本の世界を繰り返し楽 しみます。

そして 次の世代へ…

> 二十歳の お祝いに 図書カード プレゼント







小学校低学年(6歳~8歳)

読む読書を楽しんで

環境絵本 『やつがたけのちっち』 プレゼント

ことばの力やものごとを理解する力 も高まり、自然などへの関心が高まる時 期です。聞く読書から読む読書へと、読 む楽しさを実感する体験を重ねていき ます。読書を楽しむ習慣をつけること で、自ら考える力や想像する力を伸ば し、感性を豊かにします。

ことばとこころを育てる読書活動



「少しの困難にあってもへこたれない、たくましく生きる力を持った子ども」 「命を大切にして、相手のことを思いやれるやさしい心を持った子ども」 「一人ひとりが自分の夢を持って、それに向かって努力する子ども」

> (出典:茅野市たくましく・やさしい・夢のある子どもを育む条例 平成 24 年(2012 年)12 月 27 日 条例第 19 号)



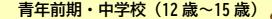
セカンドブック 30冊の中から1冊プレゼント

> 朝読書の時間 読み聞かせ 調べる学習への取組 児童会活動

青年中期・高等学校等(15 歳~18 歳)

生き方を探る読書活動

自我の確立を目指しながら、自分自身の進路 に向き合っていきます。読書を自分の楽しみの 一つとするとともに、自分の世界を広げ、生き 方を探るための読書活動を続けていきます。



目的を持った読書活動

思春期に入り、様々な葛藤の中で自分の生き方を探り始める時期 です。自分が求める読書活動を通して、考えを深めたり、感動を体 験したりし、これからの人生をより豊かに生きるための力をつけて いきます。必要な情報を取捨選択し、知識を広げたり、自分の考え を整理したりしながら、自己を高めていきます。

小学校中高学年(8歳~12歳)

幅広い読書活動

自ら考える力を伸ばし、想像力を豊かに広げながら、 読解力を育む大切な時期です。幅広い読書活動をし、最 後まで読み通す力や、考えを広げたり深めたりし、自分 の思いや考えを伝えることができるようにします。



朝読書の継続 読み聞かせ 調べる学習への取組 生徒会活動







